

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームクリーム膳所
(ユニット名)	2階
所在地 (県・市町村名)	大津市西の庄12-21
記入者名 (管理者)	入佐 貴子
記入日	平成 21 年 2 月 1 日

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に溶け込み、地域の方々と交流しながらその人らしく生活することを目指している。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関ロビー及び居間に掲示している。月一回のスタッフ会議で唱和し共有化を図っている。		パンフレットに理念を挿入して外部の方にお渡しする
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関に掲示し、ご家族様に理解していただけるよう願っている		地域の方々にはバザーなどの行事を通して理解して頂く様にしたい
理念と共有 3項目中 3 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買物のとき、近所の方に挨拶をしている。少しずつおなじみにさせていた		自発的に挨拶や言葉掛けをさせていただき、近隣の方が気軽に遊びにこられる様な雰囲気作りをしていきたい
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事に可能な限り参加させていただいた。(厄除祈願・節分・廃品回収)バザー当日はたばこ会館へ駐車場の開放をお願いし、知っていたくきかけを作ることが出来た		バザーのパンフレットを近所に配布し、近所の子供さん方もお連れ下さり参加して下さった
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	母体の医療機関にパンフレットを置いて		地域の方に認知症の講演会などを聞き知っていただきたいと思う
地域とのつきあい 3項目中 3 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年と異なるスタッフに自己評価してもらい、違う視点で問題点を見出すことが出来た		表面化した問題点の解決に向けて動いている
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回会議が行われ、会議資料をスタッフにも公開している、玄関ロビーにも設置し公開している		家族会の発足を考えて行きたい。行事日に御家族の参加を呼びかけ少しずつ参加が増えている
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員制度導入による市からの要請に応じて訪問を頂いている		相談員から見た意見を反映し質の向上を図りたい
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を活用している利用者様がいる。権利擁護の知識学習の機会を持っている		勉強会後も知識を深めるように学習していきたい
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ありがたいことに現在はないが、防止に努めている		虐待の知識、学習の機会を持つようにしている
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の説明と管理者・事務担当さらに直接のケアスタッフとの面談を通じて同意を頂く様にしている		入念な話し合いと記録を残すこと
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全員のスタッフが個々の利用者様の話を聞き不満苦情をスタッフ全員で理解し、改善するように心がけている。		運営推進委員会の席に利用者様代表として出席して意見を述べていただいている
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	数ヶ月ごとに御家族様へ写真入の便りを発行している。交通の利便性が良いためご家族様の訪問も多く、必要に応じて診療結果や金銭出納についても報告してい		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族のご意見により、意見箱を設置した。重要事項説明書に要望及び苦情等の相談窓口として、市からの介護相談員を受け入れることでその機会を設けること		介護相談員の来訪日を家族様にお知らせし、気軽に相談できるようにする
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議で要望・意見を言う。又はリーダーが聞き伝えしている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の外部での受診など付添いには職員を確保し、調整を行っている		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎月一回の夕食や行事を1階2階合同で行うことにより他のユニットの職員も顔馴染みとなっている。また1階2階共通の勤務が出来るよう毎月数日間の勤務を組み込んでいる。		スタッフ同士のコミュニケーションをとり、喋れる関係作りを目指している
理念を実践するための体制 7項目中 7 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体組織では年間計画を作り研修を実施しておりその都度事前にお知らせがあり、本部への送迎もあり参加しやすくなっている		研修日程とシフトを連動させる工夫をし、出来る限り多くのスタッフが参加できるようにしている
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームスタッフ研修に参加している。同業者との研修会にも参加している		サービスの質の向上や職員の育成に役立つ交流や連携をさらに深めて行きたい
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ同士の意見交換や悩みなど打ち明けられるようにする。休憩を互いに取れるようにその日のスタッフで声掛けをしよう		今後もスタッフ同士声掛けを続けて行きたい
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフ会議で知識を深め合う		
人材の育成と支援 4項目中 4 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ケアマネジャーからの話を元に情報を得るが先入観にとらわれず自分の目や耳で感じ取り、利用者様の理解に努める		先入観を捨て傾聴する
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に面会をさせていただき、お話を伺っている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人・ご家族様が今一番何が必要か見極める		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ある利用者様はお子様と何度も散歩がてらにお立ち寄りくださり、顔馴染みの関係を作ってから入居して下さった		今後も御本人、ご家族様が何度でも足を運んで見学をして頂き、納得して入居して頂きたい
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフの個性、年齢差もうまく利用し、利用者様の喜びや寂しさを共感するように努力している。百人一首など詠みかたや意味なども教えてくださる方も居られ学ばせていただいている		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には時間をいただきスタッフともお話をさせて頂く様にしている		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人のお部屋でゆっくりお話しし、一緒に時間を過ごしていただいている。		面会に来られた時、時間が許せば外出(ドライブ)なども勧めるようにしている

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	家族以外の方の訪問も歓迎させていただ いている。その際、御家族の了解が得ら れているか確認をさせていただいている。 また御報告もさせていただいている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	食堂の席の配慮、声掛けなどに心配りす るように努めている		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院のためやむを得ず退所となられ た方が退院後母体の中山病院へ入院さ れた		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向や思いは家族からの情報と日々の中で把握し、自室にいたい場合や一人では寂しい等個々の思いに寄り添っている		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	食事後の時間などを利用して昔のお話を聞いたり、聞き出したりするようにしている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	身体状況を見ながら、昼寝、お手伝いをしている		
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族・かかりつけ医の意見や思いに基づき、スタッフ会議で意見を出し合い介護計画の検討作成をしている		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の会議の中で、必要に応じてカンファレンスを行っているので、確実に書類作成までもって行きたい		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録は勤務前に読み、朝夕の申し送り、連絡帳を利用している		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	管理者・看護師を通してクリニック・病院などの手配をしている。月一回の行事日を設けている		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している		○	今後も各方面の皆様にご協力をお願いしたい
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会に出席して下さっている		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医があれば通院の支援をしている		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	母体のクリニックの主治医が専門医であり相談や支援をしている		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員がいる		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先にお見舞いに出かけ、ご家族様、病院関係者との情報交換をさせていただいている		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期については「看取りに関する指針」を定め、入居時に御家族と話し合い文書で確認している。	○	入居時に方針を確認しているが、状況変化に応じて話し合いを重ねたい

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	緊急時にはかかりつけ医へ連絡し、指示の元救急車で救急病院へ搬送し、御家族にも連絡して病院に駆けつけていただき共に看取りをさせていただくという体験をした	○	緊急事態応マニュアルを作成した。今後緊急時の搬送先の希望があれば事前に家族様に聞いておく
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	病状の悪化というやむを得ない事情により、退所になった方があり、十分に納得していただいている		納得のいく話し合いをする
地域資源との協働 10項目中 8 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	トイレ誘導や入浴の際には利用者の羞恥心に十分配慮した声掛けや介助を心がけている		さらに徹底して継続してゆきたいと思う
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	御本人の意思を事前に必ず確認し、例えば医療的な事などはゆっくり説明し、納得して頂く様にする。		御本人の思いや希望を受け入れられるスタッフであるように。自己決定へ導いていくことが出来るように。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今日は何をするのや～の一言を大切に話し合い、その日のスケジュールが決定		スタッフの都合が優先される場面も自覚されるので気をつけたい
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張美容院ですが、髪型などは十分に話し合っ決めて		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理は一部しか出来ないが、皮むきなどもして頂く様にしている。食器洗いは個々に出来る方にしていただいている。		自席に居ながらにして盛り付けやおむすび、お好み焼きなど楽しんでいただけるよう声掛けをし、実施したい
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食べたいもの等、要望があれば購入している。散歩時など買物(個人)もしておられる		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ほぼ全員の方の排泄記録を利用して特に時間の空いている方に対してはそっと声掛けし、誘導している。失敗時の対応も心がけている		特にADL低下のお二人に対しては毎朝9:30頃決まった時間に定期排便を促す為、トイレ若しくはポータブルトイレの座位を試みる
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼の入浴を実施。利用者様と話し合い順番を決定している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(1時間ほど)お昼寝が必要な方もいらっしゃる		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月一回の夕食が利用者様の楽しみになっており、日常食事介助している利用者様が回転寿司の時は御自分で取ることもある。洗濯物たたみや箒で掃除したり、塗り絵、計算など利用者の役割や楽しみが發揮できるようにしている		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時・散歩時に御自分の買物をして頂いている(コンビニ・駄菓子屋へ)		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候にも左右されるが、散歩や日光浴を日程にしている		車椅子使用でたとえ短い時間でも戸外に出る楽しみを支援したい
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	京都駅の空中回路へ出かけた		電車に乗って京都駅への一行もあった
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は原則自由。自らお便りのお返事を出される方も居られる		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間、日時制限はほとんどありません 自室でゆっくりして頂いている		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしないで、部屋の入り口のドアは少し開け、物音にすぐ駆けつけたり、時間ごとの巡回を行っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関・居室は鍵は掛けていない		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ1名はリビングに必ず居る事にしており、自室で過ごされる方には見回りを定期的実施している		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみなども各人の状況に合わせて持っていたりするようにしている。台所、洗面所、トイレなどでは見えないところに置くなど心がけている		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒・・・付き添い。靴、段差、物を置かない 誤嚥・・・見守り、食事の速度、料理の工夫 誤薬・・・手渡しと確認		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師を介し医師へ連絡し、1・2階協力ののもと、マニュアルに従い対策をとる訓練を行っている	○	マニュアルを作った。すべての職員の研修が必要
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を行っている。 2回/年		今後もスタッフ同士でマニュアルの確認をしていく。地域の方に利用者様の顔を覚えていただけるよう行事を企画する。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている		○	研修受講予定
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック、入浴時には皮膚の状態等チェック。異変があれば責任者に連絡し、受診。また、申し送り連絡帳により情報を伝達共有する。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬はもちろん、体調の変化に応じて変わる場合もスタッフ全員で申し送りしっかり把握しあっている	○	副作用に対しても予備知識として学習しながら捕らえて行きたい
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便については必ず記録。水分補給は1500ml/日を目標にする。便秘薬については指示をもらう		尿の心配をなさり、水分を控える方も居られるが、いろいろな声掛けをして、摂取を促している。自らフロアの周りを歩かれる方も居られる
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声掛け誘導は毎食後行い、自らケアできない人に対しては介助にて行い状況を確認している		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎日の経過表に記録している。食べにくい人に対してはおかゆや刻み食を取りいれて摂取しやすくしている		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがいと手洗いの励行。インフルエンザは予防接種をする(利用者スタッフ)また、感染症への対応マニュアルを作り学んでいる		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器洗浄機を使用。毎夜の布巾・まな板などの消毒。食材の期限のチェックを枚金曜日に行っている		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	スロープの設置。季節ごとの花木やミニトマト、ナス、きゅうりの収穫もあった。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テラスに机やイスを置きつろげる場を作っている。西日が入る部屋はよしずを利用している。リビングは季節に応じて花を飾り、カーテンやブラインドやよしずを有効に活用している		そろそろよしずの色落ちや破損などチェックして新しいものに取り替える

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルは2つありそれぞれの性格や普段の会話など考慮して座っていただいている		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	暖房は居間に床暖房を使用。冷房共に昼夜の設定温度を考えて目安の温湿度計も設置数字を見ながら冬は特に加湿にも心がける		エアコンの風など直接顔に当たらないようベッドの位置も考える
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各部屋にも温湿度計を設置し、エアコンの調整を行ったり、必要に応じて加湿器も使用している		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり・歩行器・老人車 一部手引き介助の方もいる。4名の方は車椅子、また立位の出来る方に対しては訓練を行っています		特に車椅子の方には機能低下にならないよう安全に手足を動かす訓練をしたい
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれの持ち物には必ず記名していただき混乱のないようにする		消えかけたタオルや肌着の名前もスタッフできちんと上書きする
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダで日向ぼっこをしたり、夏は花火を見たり、時にはお茶を飲んでおしゃべりや洗濯干しもして下さる		夏に向けて色とりどりのミニトマトやすだれ代わりに苦瓜の植え付けなど提案していきたい
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

病院を母体を持つ当グループホームでは看護師が常駐しており、かかりつけ医への連携もスムーズである。日々の暮らしはお天気の良い日はなるべく散歩へ、又はベランダでの日向ぼっこで外気に触れるようにしています。室内では、毎日の家事の洗濯たたみや食材の下ごしらえやテーブル拭き食事の盛り付け、配膳下膳、お茶の準備などそれぞれに出来ること、したいことを声掛けしながら動いていただいています。お仕事以外では、室内でペットボトルボーリングや手作りのボールを使ってのゲーム、百人一首、DVDの画面の音楽に合わせて、またCDの音にもあわせて、こえを出して歌ったり、また、言葉遊びもされ、楽しく押す語彙いただいています。毎月の外食や花見、紅葉狩りも楽しみです。ベランダの先にはお隣の櫻の大木が2本立ち並び、季節ごとに花と新緑と紅葉、枯葉が落ちた後には小鳥の戯れと居ながらにして季節を感じてくださっています。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	8 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

月一回開催のスタッフ会議では、ケアの原点について確認し合う場を作っています。地域の方には存在をわかってきていただいていると思うので、もう一歩進んだ認知症の理解を深めてゆくのが今後の課題です。スタッフの意欲を高めたり、チームワークのあるケアを目指して、個々に、またお互いに研鑽しています。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

ご家族様と利用者様の関係を大切に、ご家族様が訪問時はゆっくりとお部屋で過ごしていただきますが、スタッフも少しでもお言葉がいただけるようお見送り時に声掛をしています。今後ももっと気軽に立ち寄っていただける様、また、利用者様にも安らぎをお持ちいただけるようなホームにしていきたいと思っています。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

母体であるクリニックへの定期受診や外部の通院:慶弔時の送迎など要望は出来る限りうけさせていただいています。入所時に聞き取りなどしますが、体調や気持ちの変化に応じて、継続的に要望を聞き取ったり、提案したりして、安定してくらしていただけるよう支援したいと思えます

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

ふだんの日は大まかな流れはありますが、個々人のリズムに合わせて生活していただいています。四季の移ろいを感じていただけるよう心がけています。散歩や日光浴はなるべくして頂き、コンビニや近隣の店で買物をして好物の希望もなるべくかなえさせていただくようにしています。

V サービスの成果に関する項目について

利用者様方がご自分の家として、安心して暮らしていただけるよう、自立して暮らしていただけるよう、何をどのように支援させていただければ良いのかを常に考え、日々の気付きを大切にしていきたいです。地域の方々とのふれ合いや外出の機会・種類も増やしていくつもりです。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: 21 年 2 月 1 日

前回評価年月日: 20 年 8 月 1 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
	1	ご家族様同士の交流	H20.8~H21.2	年一回のバザーに多数のご家族様に参加の呼びかけ	2回目のバザー開催に多数の方の	半年後
	2	地域との交流	H20.8~H21.2	バザーに来ていただけるよう呼びかけ 一斉清掃・廃品回収・地蔵盆などに参加 地元の商店街で買物 バザーの日たばこ組合に駐車場提供のお願い	町内3役様来所 地域の方に声を掛けていただける 覚えていただいている 当館の存在を知っていただく	
	3	スタッフのコミュニケーション	H20.8~H21.2	職員の交流 職員は2ユニット双方に勤務 より多くのケアを知る	多くの症例とケアを知ることが出来た	
	4	地域の方に	H20.8~H21.2	認知症の講演会を開く	積極的なアプローチ	
	5	スタッフの研修	H20.8~H21.2	年に数回院内講習会や研究発表会を開き参加している 外部の研修会にも参加する	調整を取り合って参加している 他のグループホームの方との交流	